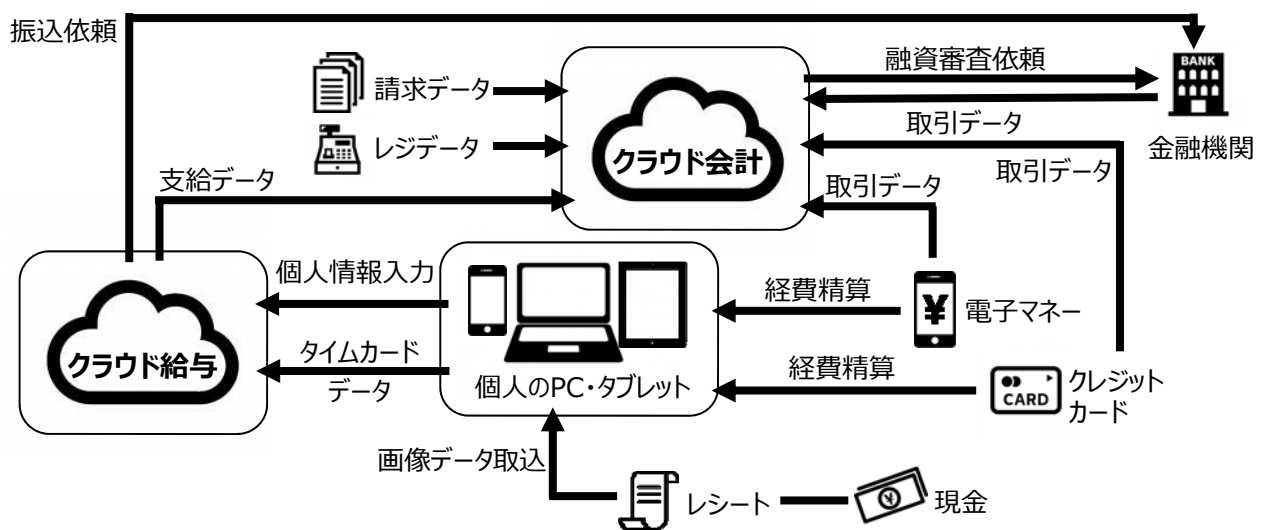


これから普及が進む、 「クラウド会計」とは!?

4. クラウドとFinTechの今後

- 発展目覚ましいクラウド会計ですが、今後はどこまで進化するのでしょうか？



現在、この図にあることは全て可能です。現在のクラウド会計の機能を全て使いこなすと、会計ソフトへの入力の8割以上を自動で行うことができます。

ただ、この中で、現金・レシートのみ異質なものとなります。画像データを取り込むという手作業が入るからです。クラウド会計の導入が進むと、この現金決済を減らした方が、効率がよくなります。

この考え方は、国も同様です。そのため、電子納税を強力に推し進めています。2017年1月4日付で、クレジットカードによる納付受付も開始し、この考えを強めています。

金融機関の融資査定も、直接会計データを閲覧し、システムによる自動査定を行うことによって、スピーディな融資の流れが検討されています。こちらが進めば、会計データのビッグデータ化が進み、より正確な査定が行えるようになるでしょう。

「知識」や「計算」の部分では、ITの方が人間よりも優れています。クラウドにより、ITの発展はますます加速しています。今後10年でほとんど事務化されるでしょう。

今、ソロバンを使って経理をされている方がごく少数であることと同じです。

<詳細やご不明点等、お気軽にご連絡ください。(担当：鉄本) ☎084-931-1428>